

# きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第23号

令和7年2月  
和歌山県  
長寿社会課

## 支え合い事例紹介 橋本市高野口地区 「ささえ愛高野口」が実施する移動支援

橋本市の高野口地区では、令和3年から第2層協議体「ささえ愛高野口」が日常生活を支援する有償ボランティア制度を実施してきました。（当通信創刊号参照）

今回、令和6年度から新たに始められた移動支援の取組について、ささえ愛高野口移動支援部会のみなさん取材しました。



ささえ愛高野口 移動支援部会のみなさん  
(取材当日いらっしやった方のみ)

### 立ち上げまでの経緯

生活支援の有償ボランティアを開始し、協議体メンバーや登録会員が地域に支援に行く中で聞こえてきた地域のニーズが「病院に行く移動手段に困っている」という声でした。

ささえ愛高野口では、令和5年5月に移動支援部会を立ち上げて移動支援の方法について検討を開始。県生活支援専門アドバイザーの柿久保氏（全国移動サービスネットワーク副理事長）による研修や、先進地である三重県名張市への視察、和歌山運輸支局への確認など積極的に前に進み続け、今回の移動支援サービスの立ち上げとなりました。

### 「いっぺんやってみなはれ」

会長の廣岡さんに取組の原動力を伺ったところ、「やっぱり楽しくやっていることです」と教えていただきました。また、視察先の代表者に言われた「なんでも、いっぺんやってみなはれ」という言葉に後押しされたとのこと。「そのとおりに、1歩目を踏み出さないと2歩目もない」と改めて思い、様々な課題はあるかもしれないがやれるんじゃないか、と支援の実施に踏み切れたということです。廣岡さんはじめ、ささえ愛高野口のみなさんが、以前の取材時と変わらず「前へ前へ」と取り組んでいました。

ココがすごい！

## 「移動支援コーディネーター」井浦さん

ささえ愛高野口の移動支援になくてはならない中心人物が移動支援コーディネーターの井浦さんです。井浦さんは、希望者からの電話連絡を一手に引き受け、運転手との調整を行い、毎月のスケジュールを作成。ご自身も運転手として活躍されています。以前から地域のために何かできることはないだろうかと思っていたところ、移動支援の活動を知り、是非実現させたいと思ったそうです。



移動支援コーディネーター  
井浦さん

井浦さんに移動支援にかける想いを伺ったところ、「市や社協が協力してくれたことが大きい。車両の貸与や、制度の仕組み・保険の対象などを確認して教えてくれた。」という感謝と、「今後、自分が高齢になった際に自分も利用する立場になりますから、やれるうちにやっておきたいんです。「ありがとう」と言ってもらえると嬉しいですよ」というやりがいを教えてくれました。また、「(移動支援は)積み上げてきた信頼感があるからこそできること」だと言います。一般的に移動支援というと、利用者やその家族が事故等の不安を感じるということが課題に上ることがありますが、ささえ愛高野口では、生活支援の取組が基盤になっており、地域の信頼が厚いことが成功の要因の一つと感じました。



移動支援部会の様子

## 移動支援を通して地域を把握

生活支援のボランティアとしても活躍している山本さんは、「移動支援を始めたから、高野口地区に住んでいながら知らない人がまだまだいることがわかりました」と言います。移動支援を単なるサービスで終わることなく、地域で生活に不自由を感じ始めている方々を把握することにつながっている点が、素晴らしいと思いました。



山本さんと利用者



## 法人と地域が協力して実施する買い物支援

橋本市では、第1層協議体の会議を発端として、市内の社福法人と医療法人が地域と連携した買い物支援を実施しています。

### 買い物が楽しみで運動にもなっている「買い物ツアー」 (社福) 光誠会 ひかり苑 × 隅田地区

隅田地区で買い物支援を行っているのが、社会福祉法人光誠会ひかり苑と隅田地区のみなさんです。

きっかけは第1層協議体の会議で買い物支援の話題が出たこと。市と第1層SC、社協が内容を検討して社福法人等に持ちかけたところ、真っ先に引き受けてくれたのがひかり苑と隅田地区のみなさんだったということです。隅田地区の区長で第1層協議体委員の乾さんは「地域で免許返納により買い物が不便になったという声を聞き、なんとかしたかった。ひかり苑には感謝している。」とおっしゃっていました。



第1層協議体委員 乾さん



ひかり苑 井上さん 堀畑さん

### ひかり苑・地域・社協が連携して実施

買い物ツアーは毎月1回行っています。参加募集はサロンボランティアが行い、予定人数を社協に報告。社協はひかり苑との実施調整を行っています。時には少し認知症の症状がある方が参加することもあります。必ずサロンボランティア2名が同行するため安心です。ひかり苑からは車両に加え、運転手と乗降補助の2名が参加。ひかり苑の井上さんと堀畑さんは「皆が喜んでくれるのがやりがい。車に乗ってこそ気づくような街の変化で話が弾んでいるのを見ると嬉しい。」と笑顔で話してくれました。



乗り降りの様子

### 参加者の声

参加者のみなさんは「自分の目で見て選べるのが嬉しい。1か月間ずっと買うものをメモし続け、この日を楽しみにしている。このショッピングモールには色々なお店があり、買い物のためにお店の中を歩くのいい運動になる。」と言い、買い物ツアーが外出して運動する機会となりました。



利用者のみなさん (両端はサロンボランティア)

## 買い物はおまけ!? 乗り合わせが楽しい「買い物ツアー」 (医) 敬英会 グリーンガーデン × 橋本地区

橋本地区で買い物支援を行っているのが、医療法人敬英会グリーンガーデンと橋本地区のみなさんです。

橋本市では2番目の実施となる買い物ツアーの取組であり、グリーンガーデン次長の北谷さんは「地域で豊かに暮らし続けられるきっかけになれば嬉しいです。」と取組に前向きです。

参加者とのつなぎ役は、第2層SCの堀川さんと山本さん、サロンボランティアのみなさんです。堀川さんはSC以外にも多くの役を担っている地域の中心人物。「生まれ育った地元でできるだけ貢献したい。家に閉じこもらずに買い物ツアーに参加して、前向きな気持ちにつながれば(嬉しい)。今後さらに多くの方に参加してもらいたい。」と意気込みを語っていただきました。



グリーンガーデン 北谷さん



グリーンガーデン 胡麻さん 松本さん



橋本地区のサロンボランティアのみなさん (右端から第2層SCの堀川さん、山本さん)

### 人に会えることが1番の楽しみ

前日にパーマをかけて、おでかけ用の服を着る。集合する時間は予定時間より20分も早く、車を待っている間はおしゃべりが止まらない。車に乗っている間もおしゃべりが止まらない。参加者のみなさんが買い物ツアーに参加する理由は単なる買い物だけではありませんでした。地域に良い効果をたくさん与えている買い物ツアー、今後も長く続けていただきたいです。



買い物後の車内の様子

### 県からのお知らせ

- 県では「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています。是非ご活用をお願いします。
  - 皆様の取り組みを紹介させていただきます。県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。
- 連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521